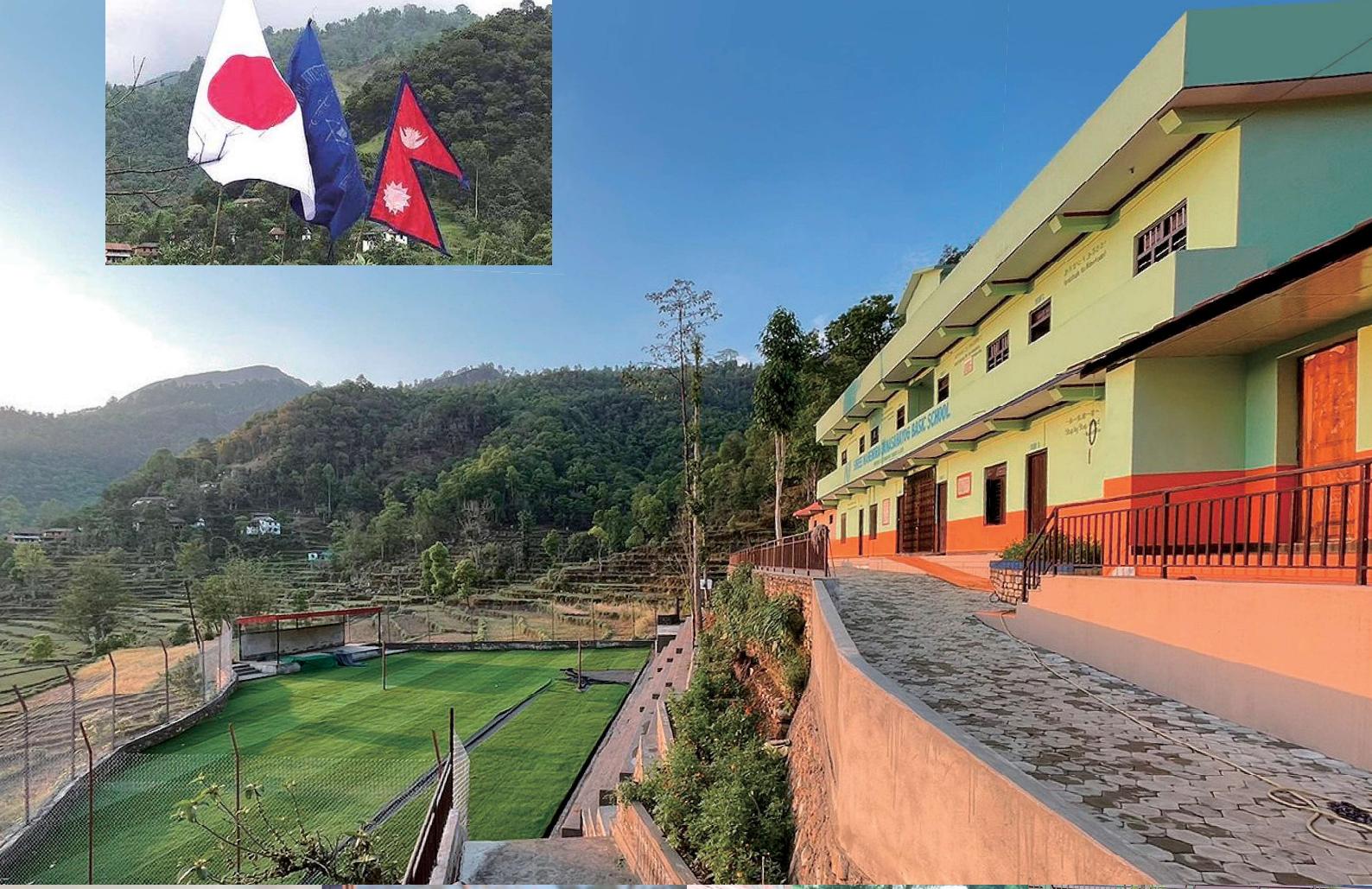


ヒマラヤに学校をつくるうプロジェクト報告書

# ネパール・ポカラの小学校 大規模建て替えプロジェクト

認定 NPO 法人ピーク・エイド

「ネパールに希望の学校が完成  
子どもたちに明るい未来を！」





## SHREE MACHENDRA JANASAHAYOG BASIC SCHOOL

FEDIKHOLA-2, STHANCHAUP, SYANGTA SIA 2018



野口とターパ・ゴダル・ウパカル氏 富士山清掃活動にて

## このプロジェクトへの思い

認定NPO法人ピーク・エイド 理事長 野口健



2019年春、この学校にランドセルを届けに向かっているときには、こんなにも深い関係になるとは思っていませんでした。他の学校と同じように、ランドセルを届けて、子どもたちの喜ぶ顔を見て、話をして、そんな予定でした。しかし、校舎は老朽化が酷く、とても衛生的と言えない教室を見て、衝撃を受けました。これが、ネパールの貧困地域の学校の現状なのだと。そして、この学校を取り巻く状況や校長先生の教育に対する思いを聞き、深く感銘を受けたのです。

校長先生は、この地域では、未だに子どもたちは労働力とされ、学校に通えない子どもたちもたくさんいて、特に女子に教育は必要ないと思っている親が多いいため、一軒一軒、教育の必要性を説いてまわっていたのでした。学校を理解してもらうために、学校に通えなかった大人たちのために夜間学校を開き、簡単な読み書きや算数を教えていました。

私は、「貧困のために教育を受けられる機会から取り残されてしまうことがあってはならない」という校長先生の熱い思いに、強く心を動かされたのです。

私たちは、校舎を建て替えるだけではなく、日本の小学校の良い習慣なども取り入れ、明るく楽しい「希望の学校」を目指すプロジェクトを立ち上げました。

この学校がモデル校となり、ネパール全体の教育環境が向上することを目指します。



バル・パハドゥール・ゴダル校長先生（当時）

## このプロジェクトのいきさつ

岡山県在住のターパ・ゴダル・ウパカル氏は、何度も岡山から富士山清掃活動に参加してくれたことから、私たちとの交流を深めてきました。そして、彼の出身の小学校にランドセルを届けることになり、このプロジェクトは生まれました。当初、校舎は老朽化し、電気がつかない教室は薄暗く、トイレもかなり不衛生でした。教師たちは、何度も校舎の建て替えの支援を国や自治体に要請しましたが、叶いませんでした。

私たちは、校舎を新しくするとともに、図書館を新設し、衛生面やカリキュラムに日本の良い部分も取り入れることを提案しました。この学校が子どもたちだけではなく、大人達にとっても「希望の学校」となるように計画を立てました。

2021年5月、約1年かけて、校舎、図書館、グラウンドなどは完成しました。すべての子どもたちが豊かに育っていくように、これからは、図書館の充実やカリキュラムなどのソフト面で支援していく予定です。



2019年4月、ランドセルを届けました



## 「希望の学校」へ

この学校は、子どもたちはもちろん、この村に住む大人達にとっても「希望の学校」となるように期待しています。勉強はもちろん、スポーツや音楽などを楽しみ、明るく元気に子どもたちが通い、大人達も自然に立ち寄れるそんな学校を目指していきます。

そして、この小学校をモデルケースとして、ネパールの教育環境が向上することを希望します。



### 2020年5月 着工

#### 工事内容

- ・旧校舎の外壁・内壁の塗り替え
- ・床にタイルを敷く
- ・屋根の葺き替え
- ・耐震性の強化
- ・図書館、トイレ、シャワールームの設置
- ・グラウンドの整備、遊具の設置など
- ・水道、電気、扇風機、ソーラーパネルの設置

### 2021年5月 完成

#### 学校理念

- ①すべての子どもたちに公教育を与える
- ②貧困で学校に通えない子どもをつくらない
- ③日本の教育システムの良い部分を積極的に取り入れる
- ④衛生管理の整った設備（トイレ・水道など）
- ⑤勉強だけではなく、音楽やスポーツなどを積極的に取り入れる
- ⑥安心・安全に通える学校





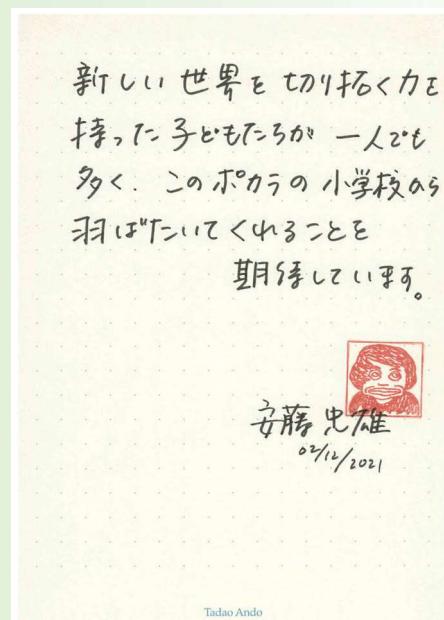
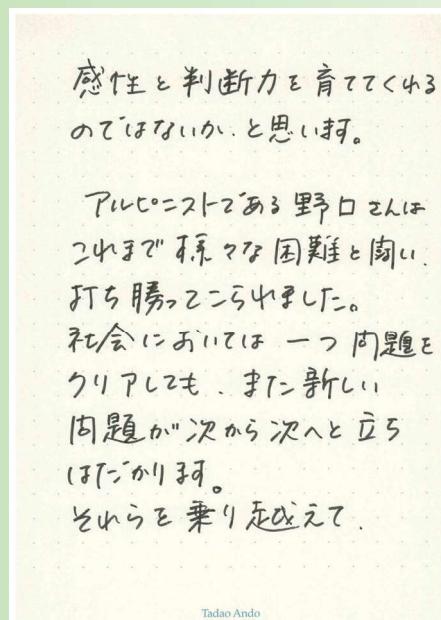
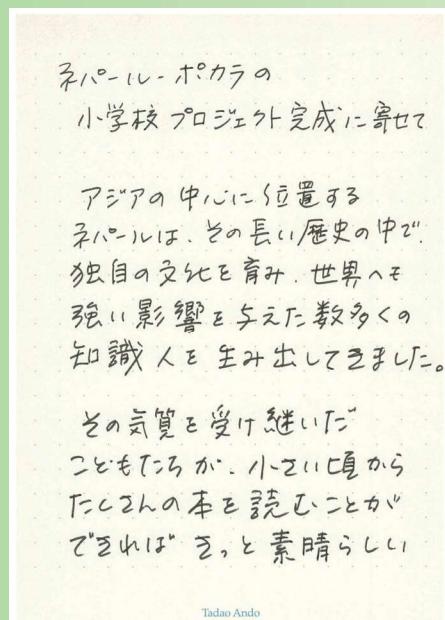
「こども本の森 中之島」にて、安藤忠雄さんご夫妻と

## 安藤忠雄さんとの出会い

野口は、以前より交流のある建築家・安藤忠雄さんに大きく影響を受けています。安藤さんの生き様が刺激になると言い、活動の原動力になっているのです。なかでも、安藤さんが計画したこども図書館には、とても感銘を受けました。安藤さんは「これからを担っていく子どもたちには、幼い頃から本を読んで豊かな感性や想像力を育むことが大切」と言い、日本各地にこども図書館をつくりました。野口は、安藤さんのこの言葉を聞き、ネパールの子どもたちにも本をたくさん読んでもらいたい、想像力豊かな子どもになってほしいと、この学校にも図書館をつくりました。

この学校のプロジェクトに関して、計画当初より、安藤さんから多くのご協力、ご指導をいただき、実現することができました。安藤さんからのメッセージを胸に、ネパールの子どもたちがたくさん本を読むことができるよう支援を続けていきます。

### 安藤忠雄さんからのメッセージ



## 地元出身の映画監督チェタン・カルキ氏を偲ぶ

この小学校出身の映画監督チェタン・カルキ氏は、この学校にはグラウンドがないために、子どもたちがスポーツなどの授業ができないことを憂い、2009年、所有していた学校に隣接している土地500m<sup>2</sup>をグラウンドとして寄贈してくれました。彼は、何本ものヒット作を持つネパールで有名な映画監督で海外からも高く評価されていました。ピーク・エイドのプロジェクトにとても感銘し、2020年には、彼の3兄弟が所有していた土地800m<sup>2</sup>すべてを寄贈してくれることになりました。学校建設の進捗状況を聞きながら、とても喜び、早く自ら学校を訪れる 것을を希望していましたが、2021年5月、新型コロナウィルスに感染してしまい、完成を見ることなく、お亡くなりになりました。これまでのご協力に心より感謝するとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



土地を寄贈してくれたカルキ三兄弟 左が映画監督チェタン・カルキ氏

## 農林長官ディ・パーク・ターパ氏が学校を視察



環境・土壤保全・農林長官ディ・パーク・ターパ氏が学校を視察しました。この学校の新しい取り組みに大変興味を示され、熱心に説明を聞いてくださいました。自分の名前が書けるようになったと目を輝かせ喜ぶ子どもたちや、自分たちで教室を掃除する様子を見て、この学校の取り組みにとても関心を持たれ、政府への提言や今後の協力を約束してくれました。

## 岡山県総社市立昭和中学校と交流会

岡山県総社市は、2017年、ランドセルを集めてネパールの子どもたちに寄附をしました。2021年10月、学校の完成を記念して、総社市立昭和中学校の子どもたちとのオンライン交流会を行いました。交流会ではお互いの学校の様子を伝えたり、空手の形を披露したり、イラストを見せ合ったりしました。ポカラの子どもたちは、初めて見る日本の子どもたちや学校の様子に目を輝かせていました。

これからも、子どもたちが交流を通して、互いに刺激を受け、成長していくように手助けをしていきます。



# Before → After



## 校舎

補強できなかった校舎は壊し、レンガ造りの図書館を新設



## 校舎

耐震を強化し、自然を表現したグリーンに



## トイレ

掃除がしやすいうようにタイル張りにし、水洗トイレも取り入れました



## 教室

薄暗かった教室は、電気もついて、明るくなりました。



## 教室

勉強机はランドセルが入るように設計されています。



## グラウンド

校舎下の土地をグラウンドに。  
人工芝を敷いて、水はけ対策をしました。



# 日本式衛生面の強化



このプロジェクトでは、校舎のリフォームだけではなく、日本の学校の良いシステム、特に衛生面の強化を取り入れていくことにしました。ネパールの学校には、「掃除の時間」がありません。そこで、日本の学校のように「掃除の時間」を設け、子どもたちが自分で学校をきれいにするように教えます。

校舎内外に水道を多く設置し、石鹼で手を洗うことを習慣づけるようにします。トイレは掃除がしやすく、清潔を保てるようにタイル敷きにしました。村でお風呂を持っている家は一軒しかないとため、シャワーも設置しました。また、上履きを着用するようにして、校舎内の衛生を保ちます。

## 水道の設置

手洗いの習慣を付けます



## シューズボックス

ネパールの学校では通常は土足ですが、この学校では校舎を衛生的に保つために日本の学校のように上履きを履きます。



## トイレ&シャワー室

明るく、清潔なトイレとシャワー室



## 多目的ホール

集会や卓球、空手の練習などを行います。



## クライミング

日本とネパールを描いた美しい壁画にクライミングホールドを付けました。一步一步登っていけますように。



## 筆 夢をもてる図書館

レンガ造りの図書館には、ネパール語、英語、日本語の本を置きます。読書は、子どもたちの想像力や心の豊かさを育むとともに、論理的思考力を発達させる面で大きな役割を果たします。子どもたちには、本を読んで、将来の夢につながるように広い世界を知ってもらいたいと思います。

そして、この村には図書館がありません。村の人たちも使用できる、明るい図書館にしていきます。



## 筆 グラウンド&バスケットコート

学校の周りは水はけの悪い土地で、雨季には、校舎内は泥でドロドロになってしまいます。そこで、グラウンドには人工芝を敷き、校舎内を衛生的に保てるようにします。グラウンドの周りの階段は、ネパール国旗の赤と青を表現しました。

バスケットコートや遊具も設置し、子どもたちが充分に楽しめる空間を作りました。



## 筆 新しいカリキュラム

空手やダンスなど子どもたちや地域の住民の方も参加できるような教室を開催していきます。



## 筆 正門

ウパカル氏デザインの正門。ウパカル氏が住んでいる倉敷の武家屋敷を参考にしました。



2021年1月8日、ポカラを代表するニュースサイト "Everest Awaj" で、この学校の取り組みについて掲載されました。

## 翻訳

### 「モデルケースとして変化を迎えるマヘンドラジャナサハヨグ小学校」

ポカラ郊外フェディコラ村にてマヘンドラジャナサハヨグ小学校をネパール初のモデルケースとしてまもなくの完成を迎えます。通常の教育以外にスポーツ、ダンス等、様々なジャンルを参考にする方針です。卒業生のターパ・ゴダル・ウパカル氏との交流があるアルピニストの野口健氏が代表を務めるピーク・エイド・ジャパンの基金にて建設を行っています。

築40年以上経っている古い校舎は、リニューアルを完了し、図書館や体育館等の新校舎の建設も完了しています。グラウンドや学校の周りも全てフェンスを作り、授業中にもプライバシーを守る環境づくりに努めています。停電になることがよくあったため、ソーラーパネルを設置しました。また、水道環境等が整っていなかったため、水タンクを設置し対応します。

元校長で、現教育委員会長バル・バハドゥル・ゴダル氏は公立の学校ではあるが英国システムまたは日本システムを取り入れ、子供達に教育の場を与える機会に繋げ、ネパールの教育環境の向上を期待していると話しています。

現在は1～8クラス計62人の生徒が在籍し、10名の教員とアシスタント1名が勤務しています。

生徒たちは、以前日本から配布されたランドセルを背負いながら、新しい環境で勉強できるのはすごく楽しい、毎日通いたくなると話しています。

葉っぱや藁の屋根、土壁からスタートした校舎は様々な時代を乗り越え、日本モデルに変化しています。この学校は本当に「希望の学校」に変わると全国的に話題になっています。」

**■आदर्श समाज**  
बोक्ता, २१ पूर्व

स्वाइलाको एक छाड फाउंडेशन र नेपुचिकोंको आर्थिक साहयोग एवं भूमिकामध्ये गोदावरी उपकार आपाको पहलान भौतिक नियांग औन्तम चाप्या दुर्घट्टा क्षण।

खेल, गायन र बालवादनामा एक सामाजिक विद्यालय बनाउन जापानको एक छाड फाउंडेशन र नेपुचिकोंको आर्थिक साहयोग एवं भूमिकामध्ये गोदावरी उपकार आपाको पहलान भौतिक नियांग औन्तम चाप्या दुर्घट्टा क्षण।

विद्यालयका अप्राप्त पुरानो भवन भत्काउन निर्मित नयी भवनको गराउन सकिन्दै लक्ष्यात आस्कूल र गोलोगान साकिएको छ। खेलमैदान र लाईगारेको कोलो ओ आभासाकर र विद्यालय क्षेत्र ताराखागारिको छ भने व्यापक योगानालय, कम्प्युटर, ल्याब, सार्वजनिक सार्वजनिक संरचना अस्तित्वमा आएको छ।

विद्यालयको पुरानो संरचना कारण पठनपाठनमा अच्छे रो भएकोपाइ अब पुनर्नियोगणित भने यसले समस्या नहुने प्रति दीपक युवाहारीले भएको छ।

विद्यालय अध्यक्ष बलकलाङ्क गोदावरी भौतिक नियांगसिंह शीर्षक गुणस्तर सुशार्दृ रिपर्शन द्वारा प्रशिक्षित विद्यार्थी अभियाकरण उन्नत हुँदै। विद्यालयमा १० शिक्षक र १ कार्यालय वाल्योग्या छन्।



地元ポカラの新聞やネパール国内ウェブニュースなどで、この小学校の取り組みについて、掲載されました。



### ネパール文部科学省からの感謝状

#### 感謝状

この感謝状は、フェディコラ村（ポカラ郊外）、マヘンドラジャナサハヨグ小学校のインフラ、教育、スポーツ発展のために誠心誠意を尽くし多大な貢献をされました、日本人 野口健氏に贈られます。

ネパール政府、文部科学省、教育開発およびコーディネーションユニットは彼の福祉活動に献身的ご尽力をされた功績を高く評価します。

そして益々のご繁栄とご家族皆様方のご健勝を祈念いたします。

グル プラサード ナウデル  
教育開発およびコーディネーションユニット長  
2021年8月2日



ウェブサイト

認定 NPO 法人ピーク・エイド

〒 401-0332 山梨県南都留郡富士河口湖町西湖 2870 TEL: 0555-25-6217  
<https://www.peak-aid.or.jp/>

